



神奈川県イグレンニュース

<第184号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F

Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2018年3月号

イベントのお知らせ

→ 第44回 海老名サロン

| | |
|-----|---------------------------------|
| 日時 | 4月20日(金)午後3時より |
| 場所 | 神奈川中小企業センター6階大研修室 (JR 関内駅徒歩約3分) |
| 内容 | 株式会社ワールド・ケア・デザインについて 他 |
| 参加費 | 3,000円(予定)(交流会費込み) |

→ 第74回 西湘サロン

| | |
|-----|---|
| 日時 | 5月8日(火)午後6時～8時(開場5時30分) |
| 場所 | おだわら市民交流センターUMECO (JR 小田原駅東口より徒歩約2分) |
| 内容 | <p>話題提供：「世にも不思議な水物語り」</p> <p>函嶺郷土史研究会 代表 勝俣 正次様</p> <p>明治29年、芦ノ湖の水をめぐる神奈川県と静岡県との間で住民争いが起き、裁判では神奈川県側が敗訴となり、これを機に芦ノ湖の水利権は静岡県の占有と見なされて現在に至るのですが、驚くことに裁判で静岡県側が提出した証拠資料の大部分は捏造された偽物だったのです。</p> |
| 参加費 | 1,000円(当日) |

※ どちらのイベントも詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. 川崎異業種研究会（川異研）通信..... 2 ページ
2. 第43回 海老名サロンの報告..... 3 ページ
3. 第58回 新事業・新技術支援フォーラム..... 5 ページ
4. NPO 法人 C&S 経営支援協会より「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」セミナー開催案内..... 7 ページ
5. 編集後記「3月を迎えて」..... 8 ページ

巻末 第44回海老名サロンのご案内、第74回西湘サロンのご案内

→ 川崎異業種研究会（川異研）通信

イグレン事務局 松井利夫

1 1月定例会報告

11月8日（水）当所にて、11月定例会を開催した。今回の定例会は、全員参加型だ。会員13名、オブザーバー1名の参加者がロの字形式で着席した。そして「社業紹介」をテーマとし、5分間スピーチを行った。各社の会社概要、その業界を取り巻く環境や現在の特徴が語られ、新しい取り組み等も紹介された。わかりやすくパソコンを用いた説明もあった。参加者はメンバーの社業の歴史や強み、果敢なチャレンジなどを聞き、大いに刺激を受けた。



【メンバーによる社業紹介の様子】

その後の懇親会では、メンバーの和光大学小林教授が、産学連携活動の一環で作ったケーキやドライフルーツを紹介した。麻生区の伝統野菜「万福寺人参」を使って作ったケーキを試食しながら参加者は、商品ができるまでの話に耳を傾けた。

1 1月分科会報告

11月2日（木）当所にて、会員6名、和光大学生3名の参加者を得て11月分科会を開催した。今回は、当所麻生支所、相澤支所長が講師を務め、「川崎商工会議所の事業概要について」と題し講演を行った。当会メンバーは川崎商工会議所の会員であることから、改めて当所の概要や事業を知りたい

という要望があり行われた。参加者からは魅力的な事業や会員サービスを今後もっと有効活用したいとの感想があり、当所事業を知らせる良い機会となった。

その後の懇親会では、10月に行った国内視察会（広島県呉市）での話題もあり、大いに盛り上がった。

1 2月定例会報告

12月14日（木）12月定例会（忘年会）を開催した。寒風が吹く中、午後6時会員20名、オブザーバー2名が集まった。会場は昨年に引き続き、居酒屋くりや（幸区）。

菅原会長の挨拶、小林副会長の乾杯発声後、和やかに会は始まった。今回は久しぶりに参加する会員もあり、より交流を深めることができた。会半ばには各会員が、1分間スピーチを行い、近況報告や来年に向けた展望を語った。菅原会長からは、同会の30年の歴史を踏まえ、今後さらに会員に喜ばれる会にするという意気込みが語られた。中締めは野見山副会長が務めた。創設期からのメンバーと新しく入ったメンバーが一堂に会し、活気に満ちた有意義な交流となった。

→ 第43回 海老名サロンの報告

1. 日時及び会場 2月27日(火)15時より 神奈川中小企業センター6階特別研修室
2. 出席者 20名
3. 概要報告

「町工場に出来る地域貢献～ダイバーシティ雇用と出張まち工場活動」

(有)川田製作所 副社長 川田俊介氏より「町工場に出来る地域貢献～ダイバーシティ雇用と出張まち工場活動」というテーマで以下のような興味ある報告を頂いた。

| | |
|--|--|
| (有)川田製作所 http://www.kawada-ss.co.jp/ | |
| (1) 会社紹介 | 社員数 24名(パート含む) 金属プレス加工業 |
| (2) 自己紹介 | 大学卒業後、大手企業でシステムエンジニアとして仕事をした後、2010年に父親の経営する現在の会社に入社。 |

(3) 2010年入社当時感じたことは、専門技術で日本の製造業を支えてきた「町工場の危機」である。

背景として、「国内生産の減少」「労働人口の減少」「需要の変化」「海外との価格競争」「廃業の増加」「設備投資の負担」等があった。

自社の状況は、社員の年齢構成は、2010年時点で14人中55歳以上が8割、売上げは、大企業の海外生産移管の進行と一社依存率が高いため、ジェットコースターのような急激な変動を呈していた。

(4) 入社後3年半を経過した頃から、自分の中で問題意識が少しずつ湧いてきた。それは、①「地域の中で」②「アジアの中で」③「中小企業とは」の3つのキーワードである。その後、方向性が明確になってきた。

| 3つのキーワード | |
|-----------|--|
| ①「地域の中で」 | 「地域貢献＝地域のための町工場」－良い雇用の場をつくる(高齢者・障がい者雇用・若者育成)。 |
| ②「アジアの中で」 | 「折角アジアにいるのだから、アジアの発展に貢献しよう＝アジアと繋がる町工場」 |
| ③「中小企業とは」 | 「中小企業は結構楽しい」－Makers ブーム：ものづくりの民主化、これから小さな企業が活躍できる時代、多様化と流動化、自社製品の開発、異業種連携、機動性。 |

(5) 「地域のための町工場を目指す取組」

①新ものづくり研究室の開設、②テクニカルショウ出展、③プリンターを活用したオープン工房化、④地域の皆さんの要望に応じていく－学生服のボタンを作って欲しい。人形の部品をつくって欲しい等。

(6) 「アジアと繋がる町工場」

①まずは技能実習生の受け入れ。

(7) 「良い雇用の場をつくる－多様性(ダイバーシティ)を受け入れる共生型の町工場づくり。」

高齢者・障がい者・女性・若者・外国人が文字どおり「共生して仕事出来る職場作り」。そのためには、「企業の風土を社員と共に築く」こと。

| 主な取り組みの例 |
|----------|
| ①残業無し |

| |
|---------------------------|
| ②有給休暇取得 100%を目指す (現在 95%) |
| ③中学・高校・大学からのインターンシップ |
| ④社員の希望や条件に合った個人別業務カレンダー作成 |
| ⑤人材育成 |
| ⑥社内表彰制度 |
| ⑦障がい者施設からの見学受け入れ |
| ⑧育児・介護への配慮 |
| ⑨外国人への配慮 |
| ⑩高齢者向け環境整備 |
| ⑪夏の B 大会・冬のパーティ |

(8) 2010年と2018年の違い

| | 2010年 | 2018年 |
|-------|-------|-------|
| 社員数 | 14 | 24 |
| 65歳以上 | 7 | 7 |
| 65歳未満 | 6 | 6 |
| 障がい者 | 1 | 5 |
| 外国籍 | 0 | 6 |

(次号に続く)

➔ 第58回「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)のレポート

2月9日開催 イグレン事務局 松井利夫

初めに、芝さんから、2月7日(水)から9日(金)開催されたテクニカルショウについて、次のような報告があった。「今年のテクニカルショウは会場が広くなり、出展小間数が30%ほど多くなった。入場者数も3万6千人と大幅に増えた。イグレンは、しばらく出展していなかったが、3年ぶりに出展した。ブースも加工技術部門で展示できた。当ブースには200人ぐらい来てくれた。宣伝のためのカタログ、チラシ等のセットを100セット用意したが、最終日の午前中に無くなってしまった。開明製作所から製品サンプルの展示があり、加工技術部門としてふさわしい展示が出来た。出展者セミナーも、沢山の方が聞いてくれたので良かった。」

パワーラインコミュニケーションズ(株)の荒川さんからは、「3月の8日、9日に認証試験が行われることになったことと、製品のデザインなどは、もっと検討しなければならない」との説明があった。

コージュ(株)の速石さんからは、「ある生命保険会社の異業種交流会でセミナーを行ってきた。紅茶の試飲の反応は大変良かった。その生保の教育推進担当部長から社員用として早速意外な量の注文を頂いた。また、社内で行っていたドライフルーツの袋詰め替え作業を、中小企業家同友会の紹介によって、障害者支援センターでやって頂くことになった。一カ月半経過後の対応状況を見ていたが対応力もあり、生き生きと働いてくださっている」との報告がありました。

(株)テクノコンサルタントの石川さんからは、「当社の『非破壊調査システム』で杭の状態を測定しますが、その場で、測定結果が出ないと信用されません。測定の結果、杭にクラックが入っていると分かってこの先何年持つかということが分からないと意味がないので、この装置の営業は難しいと感じています」と感想が述べられた。

(株)ユニメーションシステムの伊藤さんからは、「フィリピンのメトロゼブ市で、横浜市のY-POR T合同調査でJVCケンウッドが防災セミナーを実施するので、弊社の警報装置を持ち込んでJVCケンウッドのデジタル無線と接続テストを行うことになった」と説明があった。

中小企業診断士の山本さんから、「1月下旬に、ビックサイトで第47回インターネプコンジャパン、カーエレクトロニクショー、ロボティクス展が開かれたので、関わりのある会社の出展を手伝ってきた。展示は、電子関連ではプリント板や半導体の製造、車関連ではEV、無人運転、その他分野ではIoT、スマート工場、各種ロボット、物流・倉庫の自動化などであった」と説明があった。

【お知らせ】

次回(第59回)は4月18日(水)14:00より、
特別研修室で開催します。

➔ **NPO 法人 C&S 経営支援協会より**

理事長 松井利夫

**「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」
セミナー開催案内**

毎年、大変好評の標記「ものづくり補助金」が2月28日(水)に公募が開始されました。公募の締切りは**4月27日(金)**です。今回の補助件数(採択件数)は10,000件の予定とのことです。

中小企業・小規模事業者の方で、是非応募したいとのご計画がある方はこの機会を逃さず、応募されることをお勧めします。セミナーは神奈川県異業種連携協議会の後援を頂いて下記の要領で開催します。詳しいことは別紙「開催案内」をご覧ください。このセミナーでは、どこよりも分かりやすく丁寧に申請書の書き方と獲得の秘訣を説明しますのでご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

| | |
|----------|---|
| (1) 開催日時 | 平成30年3月22日(木)15:00~17:00 |
| (2) 会 場 | 神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室 |
| (3) 受講料 | 1000円(資料代) |
| (4) 定 員 | 15名 |
| (5) 講 師 | NPO C&S 経営支援協会 中小企業診断士 松井 利夫 |
| 【問合せ先】 | Mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp |

→ 編集後記 3月を迎えて

愛 賢司

3月を迎えて、決して忘れてはならないことは、3月11日の東日本大震災と東京電力福島原発事故でしょう。7年が経過したにもかかわらず、関連死を含め2万人近くの人たちが亡くなり、3万8500人の被災者の方々が不自由な仮設住宅での暮らしを余儀なくされています。全国の避難者は、7万3349人（復興庁発表）です。国は「復興期間」を2020年度までの10年間として、復興施策の打ち切りと縮小に踏み出しているように見受けられます。

戦後最大の不幸な事故を風化させないことを、世界最多の地震国に生活している我々は、常に意識する必要があるのではないのでしょうか。(K)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

| | |
|----------|--------------------|
| 【月】 | ①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝 |
| 【火】 | ①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司 |
| 【水】 | ①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛⑤芝 |
| 【木】 | ①②③④⑤松井 利夫 |
| 【金】 | ①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方 |
| 【土、日、祭日】 | 休業 |

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7階 インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com